

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	42	食事の際、長エプロンをトレーの下に引き込んで使っていたが、抑制につながる可能性もあるため、習慣的にすることのないよう、代替方法を考える。	食事用エプロンの使用者を減らし、食の楽しみを持っていただける様にする	・食事エプロンが必ず必要な方であるかの検討を行う。不必要な方であると判断した場合は使用せず、又少量の食べこぼしが見られる方はタオルでの代替えにて対応する。	1 か月	外部評価後より、トレーの下への引き込みを取りやめ、食事用エプロンの必要な方の検討を行い、現在4名の方に使用中であるが、様子を見て不必要になった時は外していくよう話し合いを持つ
2	6	今年度、身体拘束に関する研修が不十分だった	今年度中に研修の機会を設ける	身体拘束に関する研修を行い、全職員が理解することで適切なケアができるようにする	3 か月	
3	10	月1回の支払いの際に、御家族の意見や要望を聞くよう心掛けていたが、今まで以上に意見や要望を聞き取り易い関係を作りあげる。又、行事や日頃の様子を個別に報告できないだろうか。	・御家族の意見や要望を聞き取り易い関係を作りあげる。 ・ご家族に行事や日頃の様子を個別に報告することで御家族に安心して頂けるようにする。	・年に1～2回職員と御家族との懇親会を開催し、職員とゆっくりと話す機会を設ける。 ・1～2ヶ月間隔にて状況を報告と一緒に写真にコメントを添えて御家族に報告する。	12 か月	
4	1	ほのぼのの理念を地域や家族など外部に向けての発信できないだろうか	ほのぼのの理念を地域の方や御家族と共有することができる	・年4回発行している、ほのぼの新聞・運営推進会議議事録へ掲載し発信していく。	1 ～ 2 か月	
5	2	介護家族のおしゃべり会開催し、徐々地域に広げていき認知症家族を支える拠点となる	介護家族のおしゃべり会を開催し、御家族や身近な地域の方からスタートし徐々に地域に広げていき認知症家族を支える拠点となる	・1月に行われる運営推進会議協議会后に第1回を開催予定。今回はグループホームとデイサービスの御家族で行うが、今後定期的に行い徐々に地域へ広げていく	12 ～ 24 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()